

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（平成29年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 さぬき市立志度小学校
(2) 所在地 香川県さぬき市志度727番地
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数 (平成29年3月1日現在)

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
3学級 95名	3学級 89名	3学級 84名	3学級 105名	3学級 94名	4学級 126名	2学級 5名	598名	32名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 子どもの自尊感情を高める道徳教育
～「やさしさ」と「やる気」を育てる指導の工夫～

(2) 研究主題設定の理由

本校では、昨年度、子どもの実態を基にした指導内容の重点化を図り、道徳の時間と特別活動や各教科などの学びをつなぐための指導計画（志度っ子プラン）を作成した。そして、そのプランに基づき、道徳授業に関する研究を中心にして、一人一人の子どもが活躍できる指導の充実に取り組んだ。その結果、県学習状況調査（11月）の質問紙調査の設問「自分には、よいところがあると思いますか。」（自尊意識）で肯定的回答をした子どもの割合が、県平均（3～6年全体の平均値）と比べて、一昨年度は約17ポイント低かったのが、昨年度は約6ポイント改善し、差が約11ポイントになった。教職員の実感としても、一昨年度に比べて、「学校全体の雰囲気明るくなってきた」「学習に前向きに取り組む子どもが増えてきた」など感じる場面が増えてきた。これは、昨年度の取組の成果であると考えている。しかし、依然として、県平均との差は大きく、20ポイント以上低い学年もあった。

そこで、今年度も、昨年度の成果や課題を分析しながら、子どもの自尊感情を高めるために、どの子どもも自分のよさや可能性に気付き（自己理解）、自分に自信をもって集団の中で自分を生かす力（自己有用感）を育てる道徳教育の在り方について研究する。具体的には、今年度作成した「志度っ子プラン」に基づいた道徳授業等の実践を通して、子どもに「やさしさ」と「やる気」を育てる指導の工夫について研究していきたい。

(3) 研究内容及び方法

【「心を創る」：志度っ子プランに基づいた授業づくり】

- ① 志度っ子プランに基づいた道徳授業の充実
 - ・ 子ども一人一人が活躍できる指導の工夫
 - ・ 評価に生かす道徳ノート活用の工夫
- ② 「やさしさ、やる気いっぱいプロジェクト」(YYP)の充実
 - ・ YY(わいわい)ペア学年交流の工夫
 - ・ 家庭と連携した指導の工夫

※【1年目】「心を耕す」（児童理解を生かした計画づくり）

【2年目】「心を創る」（プランに基づいた授業づくり）

【3年目】「心を生かす」（見直したプランによる実践）

3 成果の評価計画

「志度っ子プラン」の取組やYYPの充実により、子どもの道徳性がどのように変化したのか、子どもの道徳ノートや教師の記録（授業・生活）、道徳性に関するアンケートなどを活用して成果を検証する。

4 研究成果の普及方法

- ・ 毎月の「学校だより」や「学年だより」の中に「道徳コーナー」をつくり、家庭や地域に発信する。
- ・ 学校のホームページを活用して、取組を紹介する。
- ・ PTA行事（学習参観など）を活用して、保護者啓発を図る。
- ・ 志度中学校区をはじめ市内や県内の学校に現職教育での研究授業を公開する。